

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等に関する評価表
(評価対象年度: 令和6年度)

<施設概要>

施設	文化会館たづくり
施設の設置目的	市民相互の交流をととして市民のふれあいと連帯意識の形成を促進するとともに、文化の振興、市民の健康保持増進、情報の提供、防災対策の促進等に寄与する
指定期間	平成31年(2019年)4月1日～令和11年(2029年)3月31日
指定管理者	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団
所管部署	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課

<施設所管部署における全体総括>

公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団は、令和6年度が財団後期基本計画の初年度にあたり、地域の多彩な人材や関係団体との連携をはじめ、地域の貴重な文化資源の活用や市が標ぼうする「パラハートちょうふ」の理念の下、共生社会の充実に向けた文化芸術の推進に取り組んだ。また、令和6年度は調布市国際交流協会の事業を継承し、国際交流センターの運営を開始し、円滑かつ安定的な業務移管はもとより、財団がこれまで推進してきた文化芸術施策との連動を図り、多文化共生を推進した。施設の整備・運営においては、市民による文化芸術活動の拠点となる施設の適切な維持管理・運営に向けて、ライフサイクルコストの縮減及び長寿命化を図るため、継続的な改修工事はもとより、施設利用者の安全・安心を第一とした維持管理・運営に取り組んだ。こうした取組を踏まえ、文化施設3館の連携及び各施設のコンセプトを生かした効果的な施設運営における創意工夫や、利用者の誰もが使いやすい施設運営に取り組みつつ、多様な文化芸術に触れる機会を創出し、市民の文化芸術活動を促進するため、市基本計画の施策に位置付けた基本的取り組みを推進する役割を担ったと総合的に評価した。今後も、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」及び令和7年3月に市が策定した「調布市文化芸術推進ビジョン」に基づき、多様な主体と連携した文化芸術の推進につながる施設の管理運営に向けて指導する。

総合評価

A

総合評価基準

以下、施設の管理運営等に関する各視点に基づく評価に対応した係数の合計で総合評価を決定する。

<係数>
s→10
a→8
b→6
c→4
d→2

各視点に基づく評価の
係数合計を算出

<総合評価基準>

S(特に優れている)

→42 ～ 44(かつ各視点でc評価が無い)

A(優れている)

→36 ～ 41(かつ各視点でd評価が無い)

B(良好)

→26 ～ 35

C(要改善)

→16 ～ 27

D(要抜本的見直し)

→10 ～ 15

＜施設の過去3箇年の主な管理実績＞

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	142万5217人	146万5658人	142万5607人
事業参加者数	21万302人 その他、映像配信視聴回数 856回	20万5449人 その他、映像配信視聴回数 323回	22万5822人
貸出施設稼働率	ホール系:81% 会議室系:65%	ホール系:83% 会議室系:67%	ホール系:81% 会議室系:67%
指定管理料(市決算額)	5億3492万2012円	5億5万8640円	5億473万5739円
利用料金収入	4685万7650円	7211万5045円	7738万3860円

＜施設の管理運営等に関する評価(各評価区分の考え方は下段の「評価の目安」を参照)＞

業務の実施体制	確認項目	確認欄
	業務マニュアルの整備(職員への周知含む)	<input type="checkbox"/> 有(更新) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	緊急時におけるマニュアル・連絡体制の整備(職員への周知含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有(更新) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	職員の育成(研修・緊急時対応等の訓練)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	＜評価におけるその他の視点＞ ・個人情報の保護及び情報漏洩防止のための措置 ・職員の勤務条件・待遇における関係法令の遵守 ・協定書等を遵守した業務の再委託 など ・適切な人員配置 ・適時適切な市との情報共有	
	施設所管部署の総括（上段の確認項目や評価の視点を含めた総括）	評価（b～d）
	市の基本的な施策を踏まえ、市民や地域、関連分野と連携しながら、文化芸術の推進に向けた取組を推進するアートマネジメント人材を育成するため、文化芸術に関する専門知識だけでなく、メンター制度の充実や職層に応じた研修を体系的に実施した。 災害時に備えた取組として、令和3年度に締結した「災害時における調布市の対応への協力に関する基本協定」に基づき、台風時の避難所開設を行ったほか、外国人避難者を想定した図上訓練を実施した。	b

評価の目安(b～d)

b: マニュアル整備や研修等が適切に実施されており、その他、協定内容や関係法令等が遵守されている。

c: マニュアル整備や研修等の実施、協定内容や関係法令等の遵守について一部改善を要する点がある。

d: 業務の実施体制について、抜本的に改善が必要なものがある。

施設の維持・管理	確認項目		確認欄
	施設・設備についての保守点検の実施		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	施設・設備に不具合等があった場合の修繕等の実施		<input checked="" type="checkbox"/> 不具合等有(86 件(うち対応 86 件)) <input type="checkbox"/> 無
	備品の適切な管理(台帳との照合)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	<評価におけるその他の視点> ・利用者の安全確保対策 ・適切な衛生管理(清掃対応, 感染症対策など) ・指定管理者として必要な保険への加入 など		
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(a～d)
	施設のライフサイクルコスト縮減のため, 空調及び照明器具の運用について検証を行い, 省エネルギー化に取り組むとともに, 設備不具合の早期発見・早期対応により, 建物全体の長寿命化を図るため, 日常定期点検を積極的に実施したほか, 86件の修繕を行い, 安心・安全な施設の維持・管理に努めた。		b

評価の目安(a～d)

- a: 施設・設備の点検や修繕等への適切な対応に加え, 先進的な対策の導入など, 優れた安全対策や維持保全などが行われている。
 b: 施設・設備の点検や修繕や備品管理, 安全対策などをはじめ, 施設の維持・管理が適切に実施されている。
 c: 施設・設備の点検や修繕等の施設の維持・管理について一部改善を要する点がある。
 d: 施設の維持・管理について, 抜本的に改善が必要なものがある。

サービスの提供	確認項目	確認欄
	計画した事業(サービス)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 一部未実施 <input type="checkbox"/> 多くが未実施
	利用者数の状況(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 前年比5%超増 <input checked="" type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 前年比5%超減
	貸出施設稼働率の状況(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 前年比5%超増 <input checked="" type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 前年比5%超増
	新たなサービス(事業)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 有(7件) <input type="checkbox"/> 無 主な実施内容: アート鑑賞補助ツールの貸出/「クリエイティブリユース」体験キットの貸出/ちょうふアートサポーターズによる美術鑑賞サポート/アート事業「テンジシツプロジェクト」の開始/「調布市パラアート展」受賞作品によるエレベーターホールラッピング/トイレ前音声ガイド設置/優先トイレ自動扉化
	サービスの見直し(利用方法・事業回数・時間帯等)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 有(1件) <input type="checkbox"/> 無 主な実施内容: ピアノ体験事業の1枠の時間の拡大
	職員の接遇態度(言葉遣い, 態度, 服装, 問合せへの対応等)	<input checked="" type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 要改善
	<評価におけるその他の視点> ・利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供 ・施設の設置目的に沿ったサービスの提供及び事業の実施 ・協定書等に基づく施設の開館日・開館時間の遵守 ・利用申請等に対する迅速な対応 ・利用者に対する附帯設備・備品等の適切な提供 ・利用者からの苦情や要望等に対する適切・迅速な対応及び市への報告 ・施設の利便性向上・利用促進に関する取組 ・利用者満足度アンケート調査等の結果など	
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(s～d)
	施設の利用率は, ホール系81%, 会議室系が67%であり, 前年度比で同水準となっている。施設利用者アンケートによる満足度(「どちらかといえば満足」を含む。)は98.0%であり, 前年度と同程度の高い水準を維持している。また, 新たな事業の実施や障害のある方のアート鑑賞補助ツールの貸出, トイレ前音声ガイドの設置等, 施設利用者の利便性向上・利用促進の取組はもとより, 共生社会の充実にに向けた取組に努めた。	a

評価の目安(s～d)

s: サービスの提供(施設利用, 事業実施など)について, 特に優れた実績がある。

a: サービスの提供(施設利用, 事業実施など)が適切に実施され, かつ, 前年度実績を上回る実績が複数あるなど, 優れた実績がある。

b: サービスの提供について協定書等の内容に基づき, 概ね適切に実施できている。

c: サービスの提供について協定書等の内容に基づく対応が実施されていないものが散見され, 一部改善を要する点がある。

d: サービスの提供について, 抜本的に改善が必要なものがある。

財務 の 状 況	確認項目		確認欄
	収支計画を踏まえた実績	利用料金収入	<input type="checkbox"/> 計画比+5%超増 <input checked="" type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 計画比-5%超減
		支出総額	<input type="checkbox"/> 計画比+5%超 <input checked="" type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 計画比-5%超
	収入(指定管理料を除く)の状況(前年度比較)		<input type="checkbox"/> 前年比5%超増 <input checked="" type="checkbox"/> 同水準 <input type="checkbox"/> 前年比5%超減
	収入確保や経費縮減の取組		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 主な取組内容:助成金及び寄附金の獲得,自動販売機の設置
	<評価におけるその他の視点> ・指定管理料の適切な管理(帳簿等の整備)・利用料金等に関する適切な収納及び還付事務の実施 など		
	施設所管部署の総括(上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(s~d)
	文化庁や日本芸術文化振興会の助成金等の獲得とあわせて、寄付金を確保したほか、電気使用量の削減等による経常経費の縮減にも積極的に取り組んだ。		a

評価の目安(s~d)

- s:収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、特に優れた対応・実績が見られる。
a:収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、優れた対応・実績が見られる。
b:収支計画等に基づく適切な運営が概ね実施できている。
c:収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に一部改善を要するものがある。
d:収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に関して抜本的に改善が必要なものがある。

その他	確認項目	確認欄
	地域等との連携による取組の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施 主な実施内容:・リトルギャラリーでの市内ギャラリー連携企画・武者小路実篤記念館との共催展示
	地域貢献活動の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施 主な実施内容:調布駅前クリーン作戦への参加
	<その他評価の視点> ・省エネルギー、省資源等の取組による環境への配慮 ・市民雇用の取組 ・地域経済の発展に資する取組 など	
	施設所管部署の総括（上段の確認項目や評価の視点を含めた総括）	評価（s～d）
	施設のライフサイクルコスト削減に向けた省エネルギー化を推進している中、空調・照明設備等の運用について、検証・見直しに引き続き取り組むことで、更なる省エネルギー化を期待する。地域等が実施する事業に継続的に参加し、地域貢献活動に積極的に取り組むことを期待する。	a

評価の目安(s～d)

s: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、特に優れた対応が見られる。

a: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、優れた対応が見られる。

b: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組が行われている。

c: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組に関して一部改善を要するものがある。

d: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への取組について、抜本的に改善が必要なものがある。

＜指定管理者における全体総括＞

令和6年度は、財団基本計画期間(令和元～10年度)後期の初年度であり、前年度に国、東京都及び調布市の動向を踏まえ策定した組織の基本理念や施設のミッション・ビジョンを整理し、これに伴う事業内容の見直しを行いました。文化芸術の多様な価値を推進するため、市及び地域の多様な主体との連携をしたほか、文化会館づくり、グリーンホール、せんがわ劇場の3施設を特性に応じ一体的に活用しながら、各事業に取り組みました。

事業運営では、令和6年度から財団事業の中に新たに国際交流事業を位置づけ、国際交流センターとして運営を開始しました。調布市国際交流協会から、同事業に関する人材やノウハウを丁寧に継承し、外国人への支援を行うとともに、芸術振興事業や地域コミュニティ活性化事業など、財団の既存事業との連動を図り、多文化共生を推進しました。美術振興事業や地域コミュニティ活性化事業の主要な事業においては、市が実施する「調布市パラアート展」と連携し、共生社会の重要性を発信するため、市と財団が共に取り組む「パラハートちょうふ meets ART」の一環として実施することで、市の事業と財団の事業との相乗効果を高めました。

施設管理運営では、アンケートや窓口などを通じて利用者の声に耳を傾け、可能な限り要望に対応したほか、視覚障害者の意見を参考に音声案内を充実させるなど、誰もがアクセスでき、利用しやすい施設運営を行いました。災害時における対応に関しては、市との連携の下、台風時の避難所開設を行ったほか、外国人避難者を想定した図上訓練などを実施しました。

組織運営では、メンター制度の充実を図ったほか、文化芸術に関する専門的な知識を深めながら、市との連携、市民や地域、関連分野との連携を推進する総合的なスキルを備えたアートマネジメント人材の育成に引き続き、取り組みました。

財務会計では、物価高騰の影響による収支への影響を踏まえ、適切な執行管理による経費節減や、助成金の獲得など自主財源の拡充に取り組みました。